

|      |   |
|------|---|
| 病院長名 | 小寺 泰弘   |
| 所在地  | 〒466-8560<br>愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地                      |
| 交通案内 | JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分<br>名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分 |



## □ 病院の特徴

名古屋大学では、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修をサポートしています。これにより、名古屋大学の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床研修が円滑に行えます。

2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成についても、病院として積極的に支援します。

充実したシミュレーション機器・各種教育ツールを活用した Off the Job Training と、目の前の患者さんを大切にする臨床研修を両軸とし、知識・技術を習得できます。

## □ 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院東海圏救急科専門研修プログラム

### 【研修目標】

救急科専門医を取得するための症例経験、手技、管理技術を学び、さらに集中治療、災害医療などのサブスペシャリティ能力を高め、これらの専門医資格を獲得する道を病院連携プログラムとして提供します。

### 【研修期間】3 年間



【研修スケジュール】基幹施設である名古屋大学医学部附属病院（名大病院）と、それぞれ特色のある連携施設をローテーションし、救急科専門医の取得に向けた臨床経験と診療実力を形成します。3 年間の期間中、どの時期にどの施設で研修を行うかは、個々の専攻医の希望やキャリアプランに応じ、柔軟に計画します。名大病院では主に、東海地方随一の重症患者が集まる closed ICU（救急・内科系集中治療部）において、急性期の診断、重症患者の集中管理を学びます。連携施設には、ER 型救急、救急救命センター、小児専門施設などが含まれ、専攻医の希望する専門性や研修進捗状況に応じたローテーションが可能であり、専門医取得に必要な症例は充分に経験できます。

国内はもちろん海外学会での発表を推奨しており、研修中にも発表の実績を積むことができます。希望に応じて多施設研究への参加や、興味のある分野のリサーチも可能で、サポート体制が充実しています。救急科専門医の取得に必要な論文執筆が可能です。

## □ 主な連携施設

あいち小児保健医療総合センター

小牧市民病院

静岡済生会総合病院

静岡市立静岡病院

大同病院

中東遠総合医療センター

豊橋市民病院

名古屋医療センター

名古屋済生会病院

藤田医科大学病院

前橋赤十字病院

## □ メッセージ

指導医 救急科長 山本 尚範（救急科専門医・集中治療科専門医）

救急科は比較的新しい専門診療科ですが、その重要性はますます高まっています。緊急救度の高い患者さんに迅速かつ適切な初期治療を行い救命する。様々な専門診療科と連携し良好なコミュニケーションの元で最善の治療に繋げる。病院前や院内急変の現場から、集中治療室での重症管理まで、質の高い管理で患者の予後を改善する。地域と密接に関わる救急医療に携わることで、社会に貢献する。救急専門医の担う分野は多岐にわたり、その需要や活躍の場はどんどん広がっていますので、専門研修においてはぜひ、幅広い視野を持って様々な経験を積みながら、興味のある分野を深めていただければと思います。



特に名大病院では、循環補助デバイスを要する重症心不全、VV-ECMO を要する呼吸不全、移植を考慮する急性肝不全、複雑な基礎疾患を持つ患者の敗血症性ショックなど、大学病院ならではの高度集中治療を学べます。小児の診療を担っていることも特徴で、貴重な経験が積めます。連携施設もバラエティーに富んでいますので、救急外来での診療・多数患者のマネジメント、小児集中治療、外傷や災害医療など、皆さんの希望に応じて柔軟なローテーションが可能です。

学会での発表や症例報告はもちろんのこと、興味があれば多施設研究やデータベース構築へ参加するためのサポート体制も整っており、これまでの専攻医も論文発表の実績を積んでいます。

いつでも見学を受け付けていますので、ぜひお気軽にご連絡ください。

## □ 募集要項

|         |  |
|---------|--|
| ・採用予定人数 | 5 人  |
| ・給与／月額  | 月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給。希望があれば関連病院への 1-2 回／週の代務も可。 |
| ・当直回数／月 | 約 3-4 回／月  |
| ・当直料／回  | 20,000 円／回   |
| ・その他    | 随時見学募集中（木曜午後にカンファレンスあり）  |
| ・応募連絡先  | 担当者 水谷 照子（医局秘書）<br>電話番号 052-744-2659<br>E メール teruko@med.nagoya-u.ac.jp                  |